

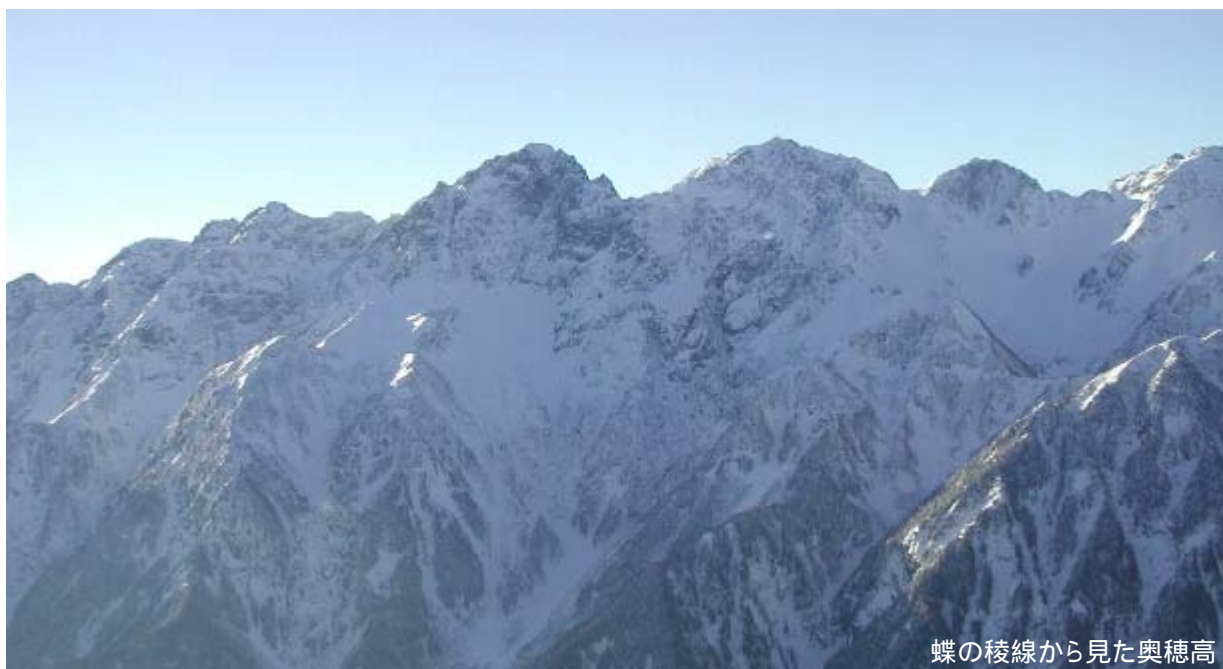
# ‘03 冬合宿報告書

## デンソ - 山岳部

### 北アルプス 蝶ヶ岳・常念岳

Aパーティー ’03 12.27 ~ 12.30 上高地 蝶ヶ岳 常念岳  
CL 鈴木, 板倉, 川南

Bパーティー ’03 12.27 ~ 12.29 上高地 蝶ヶ岳  
CL 竹内, 藤田, 金子, 町田



蝶の稜線から見た奥穂高

#### 【冬合宿を振り返り】

(計画) 今回の冬合宿を目標に、春合宿(蝶～燕岳)と11月の偵察山行(蝶ヶ岳)を行い年間を通して取り組んできたので、合宿全体を通して順調に進めることができた。

(行動) 今回の合宿では、蝶ヶ岳までA,Bパーティー合同で行動し、Aパーティーが常念岳にアタックするという体制で臨んだ。メンバー構成はA,B合わせて7名と多く、年齢層も20代から50代まで幅広く、厳しい冬山の中であるが、楽しい山行となった。また今回新入部員の参加もあり、冬山を体験してもらった絶好の機会となった。

天候は、合宿を通してあまり冬型は強くなかったが、一日おきに雪、晴天と変化し、3日目の常念アタック時は稜線上で風雪の強い荒天となり厳しかった。

積雪は上高地、長堀尾根で膝下程度で先行パーティーのトレースがあり歩きやすかった。蝶から常念岳への稜線上では、トレース跡はかすかに残っている程度で、膝上位のラッセルをする箇所も部分的にあった。

3日目は強風の中、A,Bパーティーで蝶ヶ岳山頂まで行動し、Aパーティーは常念岳へアタックに向かった。常念山頂まであと1ピッチ半の登り取付きまで行ったが、悪天候とテン場までの帰りの行程を考えここで断念した。

反省点としては、常念頂上まで残り1ピッチ半だったことを考えると、2日目のテン場を横尾への分岐以降まで進めておけば、十分登頂できる可能性はあった。

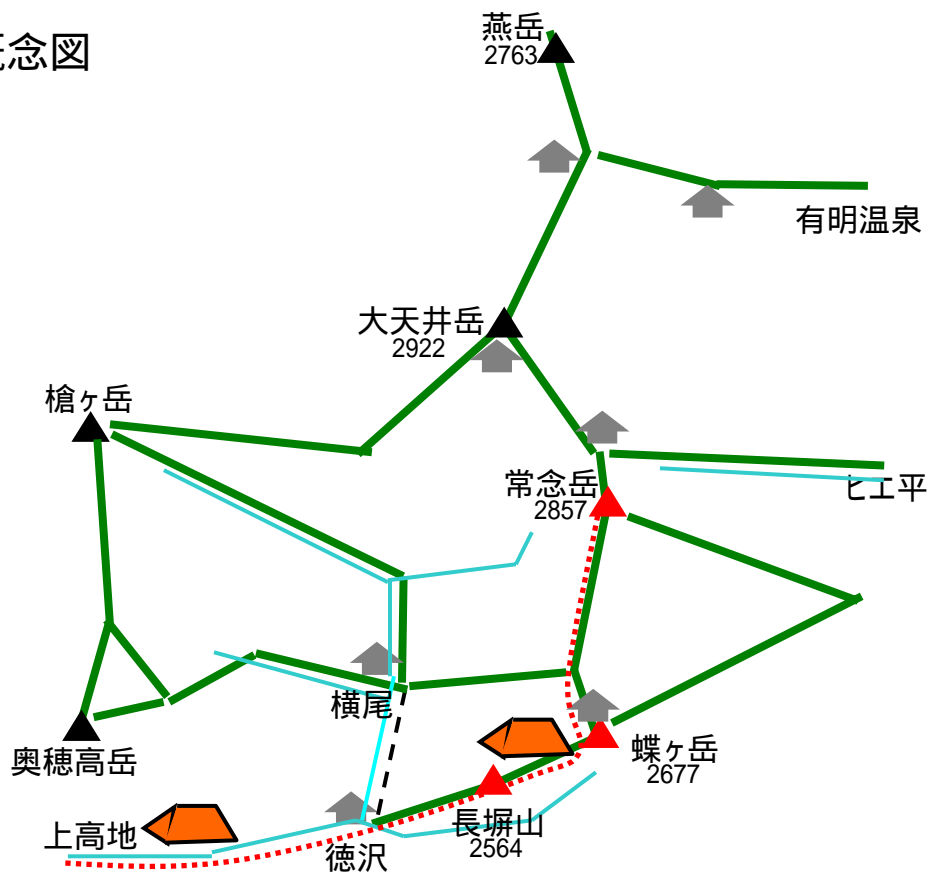
(食糧) 初日は上高地までの平地歩きということで、重量を気にせず生肉を担ぎ、テントで焼肉パーティーであった。厳しい冬山の中であることを忘れさせる楽しい食事であり、2日以降の行動への活力となった。合宿全体を通してメニューの内容、量ともに適量であり満足いくものであった。

(装備) 今回は軽量のマキシム4～5人用のテントを2張り(1張は今回新調)としたので、荷物の軽量、コンパクト化に貢献した。コンロは従来のガソリン使用のコールマンに替えてEPIのガスコンロとした。ガス使用量は合宿を通し、ガスコンロ2台で460g缶を7本持参し、5本を使用した。天候にもよるが、朝、夜の食事及び暖房に使用し、7人で1日あたり460g缶を2本使用したことになる。今後の使用量の参考としたい。ガスコンロは使用済みカートリッジを処分する必要はあるが、火力も十分あり、メンテナンスフリー、信頼性の点よりガソリンコンロよりも優れていると感じた。

最後に、留守部員の皆様をはじめ、差入れを頂いた方々に対し、合宿にご協力頂いた事をこの場を借りて御礼申し上げます。

(CL 鈴木 記)

## コース概念図



## 【12月27日(土)】曇りのち小雪

- ・7:00 刈谷発
- ・11:00 沢渡
- ・12:30 釜トンネル入り口
- ・14:00 上高地

沢渡村営第2駐車場にてタクシーに乗り換え「釜トンネル入り口」に入る。小雪の舞い降る中、いつもの軽い緊張感で黙々とトンネルを進み大正池・帝国ホテル横を過ぎて上高地駐車場跡地で本日の設営。入山先行グループのためかまだテント数は少なく軒下を借用しての竹ペグなしの仮設営でしのぐ。

少し早めの晩飯は金子君持参の「自称松坂牛焼肉」で盛り上がり満腹となったころ二手に分かれ就寝。(ラジオが入らず天気図作成ならずも長期予報では29日午前中までは期待できそう)

(記 藤田)

## 【12月28日(日)】快晴

- ・6:00 テン場出発(上高地)
- ・8:20 徳沢
- ・9:40 1975m
- ・13:30 長堀山
- ・15:00 蝶ヶ岳ヒュッテ手前

午前4:00起床、朝食のラーメンを食べ出発準備をする。6:00出発。薄暗い中を懐電を照らして歩いて行くのだが、トレースもあり歩きやすい。2時間ほどで徳沢に到着。ここからは樹林の中で急登をゆっくりと登っていく。トレースがしっかり残っているおかげで、なかなかいいペースで進んでいく。やがて先行パーティに追いつき、追い越されしながらたくさんの

登山者を見ながらの山行である。そのうち長堀山を越えて下りに入る辺りから、雪は深くなりつば足では歩きづらくなってきた。そこでワカンを履いて進むことになった。それからは、足どりもよく進むことができた。やがて視界が開けて景色も見えるようになってきた。青空の見える中を歩きながら「さぞかしテンバからの景色は良いだろうな」と思いながら歩いていく。出発から9時間かかって目的地である蝶ヶ岳ヒュッテ手前のテンバに到着した。稜線から少し下った辺りの、風が少ないところにテントを張った。ここからは景色もよく見えて、雲ひとつかかかっていない穂高連峰を見ながら、こんな景色が見えるのは初めてかな、と思いながら写真に収めることができた。その後、テントの中に入り暖まりながら食事をしました。

(記 竹内)

【感想】快晴のなかを登山できて、景色がとてもきれいに見えました。こんな天候に恵まれた山行はめずらしくとてもいい山行でした。



長堀尾根



蝶ヶ岳ヒュッテ

## Bパーティ

【12月29日(月)】 晴のち雪

- ・4:30 起床
- ・6:20 テン場発
- ・7:30 蝶ヶ岳頂上
- ・8:30 テン場着
- ・9:25 テン場発
- ・11:50 徳沢園着
- ・12:05 徳沢園発
- ・13:45 上高地着
- ・14:00 上高地発
- ・15:20 釜トンネル出口



蝶ヶ岳山頂

A・B隊一緒に蝶ヶ岳へ向う。稜線にでると北西の風が我々を直撃し、まともに歩けない状態にある。一時間程で頂上に着き、全員で記念(証拠)写真を撮る。風は相変わらず強いが、視界が良く360度の展望を楽しむ。常念岳アタックのA隊を見送り、テン場へ戻る。

徳沢園までの下りは、トレースもしっかり付いており、快調に下る。徳沢園には5～6張のテントが設営されていた。天候は朝に比べ悪くなっており、風も強く、気温も下がっている。A隊の行動が気にかかる。小雪が舞うなか、一路、上高地～釜トンネルへ向う。沢渡の温泉で3日間の汗を流し帰路につく。

(記 金子)

## Aパーティ

【12月29日(月)】 晴のち雪

- ・4:00 起床
- ・6:00 出発
- ・7:10 蝶ヶ岳到着
- ・10:00 常念岳2歩手前の登行に突入
- ・11:00 常念岳1歩手前のコルにて登行断念
- ・15:45 蝶ヶ岳ヒュッテ付近到着
- ・16:30 テント着

04:00起床。天気は晴れ。メンバ全員で食事を取る。今日の朝食はラーメンである。いつもどおり食事を終え、各々お茶、ココア、コーヒーを飲みテンションを上げる。

06:00出発。冬季小屋の脇を通り、いざ蝶ヶ岳へ向かう。稜線歩行中、朝日のご来光と共に映し出された富士山の陰影に出会う。凍てつく大地、冷え切った体にとって朝日が暖かく感じたのは私だけだろうか。

07:10 ほぼ予定通り蝶ヶ岳の頂に辿り付くことができた。やはり山頂ということもあり、時速20キロメートルから25キロメートルの風が吹き荒れる。穂高連峰、常念岳、富士山が見渡せる絶好のポイントではなかろうか。撮影欲に取り付かれるも、気持ち的に余裕が持てず、数枚のみの撮影で終わる。とりあえず全員で記念写真を取り、一息ついたところで、Aパーティ(鈴木リーダー、板倉チーフリーダーと僕)、Bパーティ(藤田部長、金子さん、町田さん、竹内さんの以上45歳以上のメンバ)に分かれ行動することになった。Aパーティは常念岳をアタックし、Bパーティは帰路につく。お互い健闘を祈りつつ各々の進路を取った。

ここからは主にAパーティをレポートする。

・鈴木リーダー、板倉チーフリーダーに従い、延々と続く雪山道を歩く。といっても2日目に山行した長堀と違いトレースルートが全くないので、ラッセルしながらの歩行となった。初ラッセルということもあり、初めのうちは新鮮な気持ちで取り組んでいたのだが、なにぶん昨日傷めた脚が思うように動かず途中から憂鬱な気持ちで歩く。

10:00 常念岳2歩手前の登行に突入する。穂高連峰を横目で見つつ、ワカンからアイゼンに履き替えた足で牛歩ながらも着々と登る。途中稜線の突風(時には50キロメートルの風速があったのではないかと)にびくびくしながら着々と登る。しかしながら全然ペースが上がらない。足が思うように動かない。一方時間は非情にも着々と進む。結局これが尾を引き、

11:00 常念岳1歩手前のコルにて、断念。非常に残念だった。

けれども引き際が最も大事ということもあり、いさぎよく判断に従うことにする。この時から天候も怪しくなり始める。

13:00 延々と続く帰路、稜線登行中に吹き付ける吹雪。僕は一体ここで何をしているのだろうかかと半ベソをかきながら戻る。

15:45 やっと蝶ヶ岳ヒュッテ付近まで辿り付く。人間現金なもので少しばかり元気が湧いてきたのがこの時の正直な気持ちである。だが、13:00頃から吹き始めた吹雪が一層激しさをまし、その影響で、テント場が分らなくなるといった状況に陥ってしまう。僕にはどうすることもできない。じっとリーダーの判断を待つ。板倉チーフリーダーが必死でルートを模索した結果、16:30 なんとかテントに辿り付くことができた。こんなにほっとした気持ちになれたのはいつ頃以来だろうか。冬山の怖さを垣間見た気がした。

感想

-1に体力、2に体力を痛感させられた山行でした。

-これから体力づくりに取り組んでゆきます。

-一方初心者ながら一言今回の計画について意見を言わせて頂きますと、やはり一日の山行は初心者のペースで6時間程度に留めて頂きたいです。8時間或いは9時間は結構つらいものがあります、といいつつ、馴れもあるのかなと思ったりもしますが、

-皆様本当にお疲れ様でした。

(記 川南)



コル手前からの常念岳

### Aパーティ

【12月30日(火)】曇りのち快晴

- ・5:00 起床
- ・7:30 出発
- ・8:30 長堀山
- ・11:30 徳沢園
- ・12:55 明神
- ・13:50 河童橋
- ・15:55 中の湯

比較的穏やかで暖かい朝、下山日ということもあり、あたりが明るくなりだした後にパッキングをする。外へ出ると、すね程度の雪が積もっている。周りは雲の中だが、上空は快晴の兆しだ。

下山のルートは、昨日までのトレースをすっかり隠している。かすかに分かるへこみを頼りに、軽い雪をワカンで快適に掻き分け進む。ほどなく長堀山に着く頃には、穂高方面の雲も薄くなってきた。途中たっぷり雪をかぶった樹木を、障害物競走のように上へ、下へと、下って行く。急斜面少し手前で、登りのパーティに出会くと、後は続々と登って来ていた。徳沢園へ着く頃には、すっかり明神、穂高が顔を出し、新雪をまとい輝いていた。

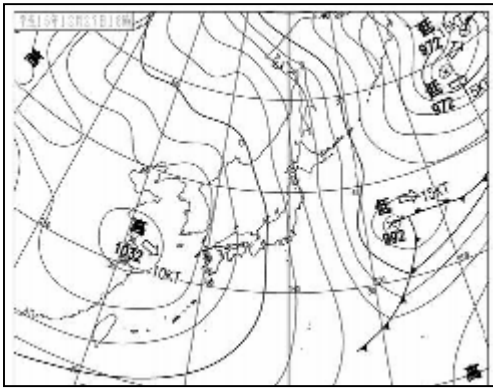
徳沢園の冬期小屋は、正月前後の営業をしており、スノーモービルのエンジン音が静寂を破っていた。明神岳を眺めつつ、上高地へ進むとほどなく河童橋へと到着。本日の岳沢カールは、今まで見た中で一番白く輝き、迫ってきていた。中の湯までの車道は、霞沢岳、焼岳を眺めつつ進むが、なかなか釜トンネルには着かず、意外とてこずる。最後に釜トンネルの急坂を駆け下りると、県警の方の出迎えを受け無事合宿を終了。



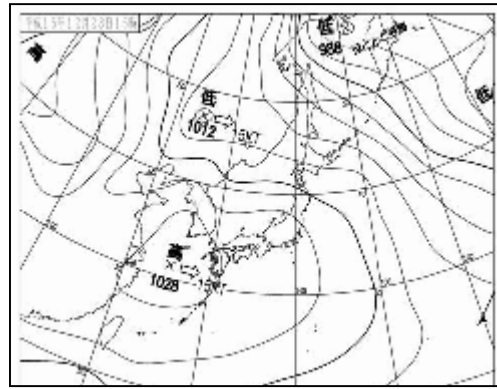
徳沢からの前穂高

(記 板倉)

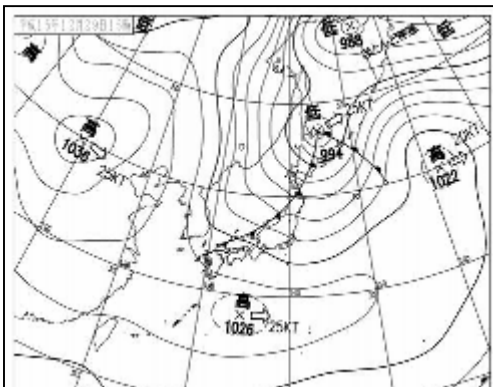
【気象】合宿の4日間は天候は、あまり冬型は強くなく、28日と30日は快晴に恵まれた。  
常念岳アタック日の29日は日本海を通過する前線の影響で稜線上は荒天となった。



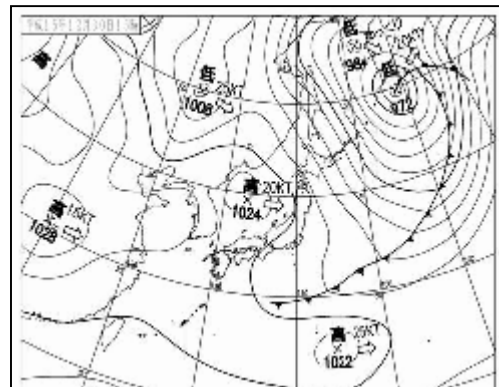
【12/27】 上高地  
天候:雪



【12/28】 上高地 蝶ヶ岳  
天候:快晴



【12/29】 蝶ヶ岳 常念岳  
天候:晴のち雪



【12/30】 蝶ヶ岳 上高地  
天候:曇のち快晴

## 【会計】

食料(主食)	12183
食料(焼肉)	2673
タクシー(沢渡 釜トン)	5320
タクシー(釜トン 沢渡)	5140
交通費(名古屋高速往路)	2000
交通費(名古屋高速復路)	2000
交通費(小牧 松本)	9800
交通費(松本 小牧)	9800
ガソリン(550km, 7km/L, 95円/L)	15000
償却費(550km, 5円/km)	5500
<b>支出計</b>	<b>69416</b>
<b>一人あたり</b>	<b>9917</b>
差入れ 亀山さん	5000
差入れ 山岳部	5000
	[単位 ¥]

亀山さん差入れありがとうございました



大正池